



不妊治療を受けながら 働き続けられる職場づくり

不妊治療と仕事の両立に関するシンポジウム

今、さまざまな企業で、社員が不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりに取り組む動きが広がっています。そうした職場づくりをすることによって、離職の防止、社員の安心感やモチベーションの向上、新たな人材を引き付けることなどにつながり、企業にとって大きなメリットがあると考えられます。

不妊治療と仕事の両立について上司や同僚等の理解を浸透させ、お互いに支え合っている、またハラスメントのない職場づくりを進めることは、企業にとって大切な取り組みです。

シンポジウムでは、有識者による「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくり」に関する基調講演やパネルディスカッションが行われます。

挨拶

ビデオメッセージ

厚生労働省 副大臣 三原 じゅん子氏 内閣府 副大臣 三ッ林 裕巳氏

第1部

基調講演 「不妊治療とは？不妊治療と仕事の両立に関する課題など」

公立大学法人横浜市立大学 大学院 医学研究科
生殖生育病態医学講座(産婦人科学) 准教授 倉澤 健太郎氏

第2部

パネルディスカッション 「不妊治療と仕事の両立のために」

NPO 法人 Fine 理事長

松本 亜樹子氏

公立大学法人横浜市立大学大学院
医学研究科 生殖生育病態医学講座
(産婦人科学)准教授

倉澤 健太郎氏

株式会社大和証券グループ本社
人事部 健康経営推進課長兼
給与・厚生課長 担当部長

安藤 宣弘氏

オタフクホールディングス株式会社
執行役員 人事部 部長

島原 由里子氏

2020年 12月23日(水)～2021年 3月19日(金) 配信

視聴無料

<https://www.funinkyuka.com>

※インターネット環境があれば、通常のブラウザで視聴可能となります。
※視聴いただく環境によって、ご覧いただけない場合もあります。
また視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。

不妊治療と仕事の両立に関するマニュアル・ハンドブック

厚生労働省では、「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」と「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」の2冊を作成しています。「マニュアル」は、主に事業主や人事部門向けであり、不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりが、離職防止や新たな人材の発掘といった企業のメリットにもつながることや、両立支援制度の導入方法などを記載しています。「ハンドブック」は、主に職場で働く上司や同僚向けであり、職場での不妊治療への理解を深めてもらうため、不妊治療の内容や配慮すべきポイントなどを記載しています。

「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」の概要

- ・ 不妊治療についての解説
- ・ 企業における不妊治療と仕事の両立支援に取り組む意義
- ・ 不妊治療と仕事の両立支援制度の導入ステップの解説
- ・ 不妊治療と仕事の両立を支援するための各種制度や取り組みの解説
- ・ 企業の事例の紹介
- ・ その他参考情報



<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/30.html>

「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」の概要

- ・ データで見る不妊治療と仕事の両立
- ・ 不妊治療についての解説
- ・ 職場での配慮のポイント
- ・ 不妊治療を受けている、受ける予定の人たちへの情報



<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/30.html>

不妊治療と仕事の両立に関する企業の取組例

不妊治療と仕事の両立に取り組んでいる企業の例として、今回のシンポジウムにも登壇する2社の例を、「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」から紹介します。

オタフクソース株式会社の取組の一例 （「マニュアル」p47～48に詳しい内容が掲載）

- ・ 連続5日間で有給で休めるノーリーゼン休暇制度
- ・ 積立有給休暇制度
- ・ 時間単位の有給休暇取得制度
- ・ 再雇用制度
- ・ 社内外でアクセスできるPC／携帯電話の貸与 等

株式会社大和証券グループ本社の取組の一例 （「マニュアル」p51～52に詳しい内容が掲載）

- ・ 特定不妊治療の費用補助制度
- ・ エル休暇（男女の社員が不妊治療等で月に2日まで有給で利用可能）
- ・ 女性の健康問題についてのeラーニング
- ・ 仕事と不妊治療の両立のための在宅勤務制度
- ・ プロフェッショナルリターンプラン
（不妊治療が理由の退職も再就職可能） 等